

冬用タイヤの技術的分析・検討を行う勉強会概要

- 令和2年12月以降の大雪により、関越道、北陸道等において多くの大型車両が立ち往生したことで、大量の車両が路上に滞留する事案が発生。
- これを受け、立ち往生の原因や防止策について技術的に分析・検討するため、「大雪時の車両の立ち往生防止対策に係るタイヤの技術的分析・検討を行う勉強会」を令和3年1月に設置。

○検討内容

- ① 立ち往生して通報された車両について、車両の構造等を分析
- ② 立ち往生を引き起こしやすい車両や使用条件について技術的に考察し防止策を検討
- ③ 冬用タイヤとチェーンの併用について、効果、併用のタイミング等について検討 等

○構成団体(順不同)

- ・ (独)自動車技術総合機構交通安全環境研究所
- ・ (一社)日本自動車工業会
- ・ (公社)全日本トラック協会
- ・ (公社)日本バス協会
- ・ (一社)日本自動車タイヤ協会
- ・ (一社)日本自動車車体工業会
- ・ (一社)日本自動車連盟
- ・ 警察庁
- ・ 国土交通省道路局
- ・ 国土交通省自動車局(事務局)

○これまでの取組み

- 【第1回勉強会】 令和3年1月14日
 - 摩耗した冬用タイヤ使用抑止のルール化
⇒ 冬用タイヤの溝深さを確認することを義務付け(1月26日に制度化)
 - 冬用タイヤ装着等の注意点に関するチラシの配布
⇒ 関係団体に周知(1月15日に発出)
- 【第2回勉強会】 令和3年2月10日
 - 学識経験者による講演、業界ヒアリング結果の分析、対策の方向性の検討

○今後のスケジュール

- 【第3回勉強会】 令和3年2月末～3月上旬頃
 - 対策の方向性をとりまとめ